

先輩からのメッセージ — 一緒に看護を!! —

Q:愛全病院を選んだ理由は?

北海道の雰囲気はロマンチックで、面接の人も優しくかったです。仕事はどこでも同じですが、働きやすい職場だと思いました。日本の病院は、患者、医師、看護師の信頼関係がいいので、働きやすいと思いました。みんな、何かあったら情報共有やコミュニケーションが取れています。自国で長く働いていませんが、日本の方がスタッフ間の会話が多いです。自分の国よりみんなが仲良くなれるイメージです。

Q:仕事をしていて嬉しかったこと

最初は緊張して、患者さんと話すこともできませんでした。今は患者さんから「郭さんいる」など声を掛けられることがあり、信頼されていると感じられることが嬉しいです。また、ケアをした時は、「ありがとう」と言ってくれるので嬉しいです。
心に残るケアは、ほとんどの患者さんは優しいけど、厳しい患者さんもいます。新人の時は結構緊張し、どうしたらコミュニケーションがとれるか迷いました。いまは、きちんと説明できなかったせいだと思います。



4階2病棟
障害者施設等一般病棟勤務
郭園さん

Q:日本に来てどうですか?

最初は、外国人として言葉も出来ないし、職場の文化など、同じ病院だけでもとても違いがあり大変でした。今は、みんなすぐ教えてくれ、2年目は結構、楽な気がします。日本の話し方は曖昧でよくないと言われていましたが、時にはいいと思います。直接言ったらお互いの関係が悪くなるのが、曖昧にすることで関係を壊さない。その意図することもわかるのでいいと思います。働きやすいと思っています。

Q:大変だったことは

患者さんの情報をどのように伝えたらよいか困っていましたが、みんなが話しているのを聞いて、こんな風に伝えたらいいんだと学んだり、それをメモにしました。表現がわからない時は、みんなに聞きました。「痲痺」がわからず、入力できなかったが、自宅で辞書で調べて、今日は記録できました。知識・技術のわからないことがいっぱいあります。質問したり、仲間で自分はこんな時こうするが、みんなはどうしていますかと話し合うこともあります。大西さん(外国人支援担当の看護師)はそばにいて、わからない時相談して、すぐ教えてもらった。今日、大西さんがいると思うと安心できました。

Q:こんなふう乗り越えた

Q:大切にしている看護は?

感情です。毎日、処置はいつも通り行いますが、例えば、今年は、コロナで家族が来られない状況なので、話すようにしています。あとは知識・技術の熟練です。例えば注射がうまくできないと患者さんがつらくなるので。

Q:就職先を考えている方へ

愛全病院は 院内の飾りがすごいです。雰囲気がよくて働きやすいです。外国人がいるし中国語を学びたいという人はぜひ愛全病院に来てください。

